

光星 いざ8強へ

夏の甲子園 ききよう海星（長崎）戦



打撃練習に励む、八学光星の大江拓輝＝15日、兵庫県尼崎市立尼崎高室内練習場

第101回全国高校野球選手権大会に出場している八学光星は16日第4試合（午後3時半試合開始予定）で、海星（長崎）と激突する。試合を鶏口に控えた15日、ナインは兵庫県の尼崎市立尼崎高で約2時間調整。2014年以来となる8強入りに向け、打撃練習などに汗を流した。

15日は本来、3回戦の試合目だったが、台風の影響で順延。この日の練習も、雨風が強まる前の午前中、室内練習場で打撃中心のメニューに励んだ。

投手陣は、大半がキャッチャーで、右腕の田澤宗也が変化球を織り交ぜて投球。選球は、仲井宗基監督からそれぞれフォーム良く投げてくる。大振りせず、丁寧な打撃を心掛けていこうと意気込んでいた。

投手陣は、大半がキャッチャーで、右腕の田澤宗也が変化球を織り交ぜて投球。選球は、仲井宗基監督からそれぞれフォーム良く投げてくる。大振りせず、丁寧な打撃を心掛けていこうと意気込んでいた。

力まず落ち着いて

八学光星・武岡龍世主将 相手は投手中心の守備で堅実な野球をするイメージ。相手の策にはまらず、丁寧な打撃を心掛けて1点ずつ得点を積み重ね、相手にプレッシャーをかけたい。守備は2回戦で失策が目立っていたので力まず、落ち着いて試合に臨む。

守備からリズムを

海星・坂本芽玖理主将（相手の）1、2回戦を見て、改めて打撃のチームだと感じた。打たれることによる失点は覚悟するが、守りのミスは抑えたい。守備からリズムをつくり、少ないチャンスを得点に結び付けられるよう、これまで通り持ち味を生かして戦う。

16日の全国高校野球選手権大会3回戦で、青森県代表の八学光星は海星（長崎）と対戦する。光星の仲井宗基と海

両監督 かく戦う

星の加藤慶二両監督に、鍵を握る選手やチームの状態などを聞いた。

（取材班）

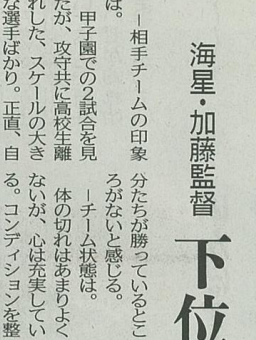


3回戦のポイントなどを挙げる海星の加藤慶二監督。二ホテラ、ゴローラ、ジェンシー大阪寮

「相手チームの印象は、分たが勝つていて、余裕がないと感じる。チーム状態は、甲子園での2試合見れば、攻守共に高校生離れした、スเกลルの大きな、心は充実している選手ばかり。正直、コンディションを整えて臨みたい。」

「鍵を握る選手は、投手の江越（本輝）。投手は長いイニングを投げられると思う。リズムがつかない場合は、投手の柴田（蓮人）君、2番の大串（拓貴）君、柴田君は制球が良く、低いというわけではない。不調の原球も少し動くような。」

「勝敗のポイント。横手投げとスイングの違う選手がそろっている。」



「相手チームの印象は、分たが勝つていて、余裕がないと感じる。チーム状態は、甲子園での2試合見れば、攻守共に高校生離れした、スเกลルの大きな、心は充実している選手ばかり。正直、コンディションを整えて臨みたい。」

「鍵を握る選手は、投手の江越（本輝）。投手は長いイニングを投げられると思う。リズムがつかない場合は、投手の柴田（蓮人）君、2番の大串（拓貴）君、柴田君は制球が良く、低いというわけではない。不調の原球も少し動くような。」

「勝敗のポイント。横手投げとスイングの違う選手がそろっている。」

光星・仲井監督 好調の武岡が鍵

海星・加藤監督 下位打線に期待



3回戦へ向けて意気込みを語る八学光星の仲井宗基監督。13日、兵庫県西宮市

「相手の印象は、好調の武岡（龍世）に、2番の大串（拓貴）君、柴田君は制球が良く、低いというわけではない。不調の原球も少し動くような。」

「鍵を握る選手は、投手の柴田（蓮人）君、2番の大串（拓貴）君、柴田君は制球が良く、低いというわけではない。不調の原球も少し動くような。」

「勝敗のポイント。横手投げとスイングの違う選手がそろっている。」

3回戦へ向けて意気込みを語る八学光星の仲井宗基監督。13日、兵庫県西宮市